

# 石巻市湊地区での「後片付け ボランティア」を希望しているあなたへ

(2011年10月1日更新)

## はじめに

このたびは私どもが展開している石巻市湊地区でのボランティア活動への参加希望をいただき、誠に有り難うございます。

湊4丁目周辺は、石巻漁港から北に約900m、旧北上川から東に約800m、国道398号線(女川街道)から入った、地方の、どこにでもある静かな、普通の町でした。

3・11の東日本大震災は、海から離れているこのエリアにも4mに及ぶ大津波を発生させ、一帯は海水に飲み込まれ、大切な、掛け替えのない人の命や思い出の品々、家屋、車、生活用品など、ありとあらゆる有形無形のを奪っていきました。

大津波が去り、残ったものは、悪臭を放ち、汚泥に沈む瓦礫の山です。

この地区は甚大な被害を受けたにもかかわらず、旧北上川を渡って来なければならないほど石巻市市街からは離れており、行政や自衛隊が入ってくるのが最も遅れたエリアとして、被災から一ヶ月以上経った4月中旬、ようやく自衛隊が瓦礫の撤去作業を開始し、またこれに伴って石巻市災害ボランティアセンターからも、ボランティア派遣が行なわれるようになりました。

この地区でのボランティア活動はたいへん有り難いことですが、反面、危険も伴いますので、実際の活動には万全の体制で臨むと同時に、「自分の身は自分で守る」という意識を強く持って現地で活動されることをお願いします。

なお、この活動はあなたの意思に基づくものであり、私どもは現地での宿泊(素泊まり)と作業を提供するだけで、現地スタッフも含め、あなたの生命財産を守り、保障するというものではないことをご確認ください。

「被災地の人たちを応援する市民の会」

「被災地の人たちを応援する市民の会」と「みなと応援村」とは…

「被災地の人たちを応援する市民の会」は、武蔵野市内外で活動している様々な分野の個人・団体が、「東日本大震災」で被災した方々を応援しようと発足させた、任意のボランティア・グループです。当初、私たちは新聞報道などから勘察し、宮城県亶理郡亶理町での活動を行うべく4月2日、東京から3名、兵庫県加古川市から1名が現地入りし、全国各地から送られてきた物資(肌着・靴下・マスク等)を亶理町災害ボランティアセンターに寄託しました。

亶理町海岸部の被害は甚大で大変厳しいものがありましたが、同時に石巻市湊地区に入っている関係者から応援の要請が入りました。そこで、知的障がい・者とその家族の被災状況を調査するために入った1名が東京に戻った後の4月4日、残った3名で湊地区に入り前述の関係者と合流、偶然出会った現地被災者の方から自宅提供の申し出を受け、その家を後片付けのボランティアを受け入れる「宿泊所」とすることにし、地元の方々に「みなと応援村」という名前をつけて頂きました。「みなと応援村」の設備と後片付けにかかる機材・資材、また「みなと応援村」の維持管理・ボランティアの受け入れなどにあたる現地の方の人件費を「市民の会」が拠出し、実際の日常業務は現地の被災者自身が行うという「二人三脚方式」で、一日も早い地域の再生を目指しています。

「みなと応援村」では5月11日より現地にスタッフを常駐させ、被災者からの要望と活動希望者のニーズ調整を行なっております。また地元の民生委員の方とともに物資の配布・提供も行なっております。

\*「みなと応援村(宿泊所)」維持管理のため、1泊300円以上のカンパをお願いします。

## 活動内容について

活動内容：現地スタッフの作業指示の下、家屋内外の汚泥のかき出し  
側溝の汚泥かき出し、家財道具の運び出し、食器洗い等

活動地域：石巻市湊町・吉野町周辺

宿泊場所：「みなと応援村」

石巻市吉野町3-6-12

\*施設維持費：1泊300円以上のカンパをお願いします。

緊急連絡先：090-3066-4040（せんだひろし）

## 「みなと応援村」への行き方

### ★自家用車などで現地に入る場合（駐車場完備）

東北自動車道「仙台南IC」→「仙台南道路・仙台若林JC」→「仙台松島道路」→  
「三陸自動車道・石巻河南IC」で石巻市内に入ります。石巻河南ICから約6<sup>キロ</sup>、20分です。

### ★鉄道・バスで現地に入る場合

東北新幹線「仙台」駅で乗換え約40分、東北本線「小牛田（こごた）」駅で石巻線に乗換え、  
約40分、JR「石巻」駅着。石巻駅からは後段を参照。

またはJR「仙台」駅にて、宮城交通バス「仙台-石巻」を利用。所要時間は約90分。  
JR「石巻駅」下車。女川（おながわ）街道を徒歩の場合は約20分。タクシーの場合は  
「湊小学校の先のキグナス石油（ガソリンスタンド）」と指示してください。

キグナス石油で降りたら、前段の現地スタッフ・工藤宛てに電話をしてください。

### ★高速（夜行）夜行バスの利用

新宿・渋谷←→JR石巻駅の間で高速（夜行）バスが走っています。

「ハイウェイバスドットコム」で検索、「空席紹介・予約」ページに進み「仙台・石巻  
方面」で運行状況を確認の上、御利用ください。JR「石巻」駅からは前段の「鉄道・バ  
スではいる場合」を御参照ください。

## 「みなと応援村」の一日

### ★車で御自宅を深夜に出て湊で朝まで仮眠という一例です。

08:00 チェック・イン 現地スタッフが施設利用のルール説明をします。  
その日の作業内容についての説明をします。

09:00 道具を持ってそれぞれの活動場所に向けて出発。

12:00 湊中学校または湊小学校（ともに避難所）の炊き出しで昼食。  
\*炊き出しは避難されている方のために行なっているものですので、  
その点を考慮した上での御利用をお願いします（現在は有料です）。

昼休み（作業内容によって時間がずれることもあります）

13:00 午後の作業開始。

16:00 だいたいこの時間までには作業は終了します。  
持っていった道具は忘れずに持って帰ってきてください。

16:30 汚れた長靴や一輪車、カクスコなどは現地スタッフの指示により清掃し、  
所定の位置に片付けます。

17:30 5月14日より電気、水道（水洗トイレ）の使える家屋に宿泊所が変更  
になりました。また、プロパンでお湯を沸かせますので、身体を拭くこ  
とができます。作業後は気持ちをリラックスさせて心身の疲れをとる  
ようにしてください。疲れを残さないためにも早めの就寝を。

07:00 起床 朝食

\*連泊の場合は9:00から作業開始。（または活動先に合わせて下さい）  
撤収の場合は朝食後、荷物をまとめて8:30にチェック・アウト。

以上が活動と宿泊の基本パターンとなりますが、

- ① 午後にチェック・インする場合は正午までに来所してください。  
13時からの作業開始に間に合うように準備してください。
- ② 午前中は作業をし、午後に帰宅する場合は、朝食後に荷物を御自分の車に  
移しておいてください。
- ③ 状況が変わる場合がありますので、現地の指示に従ってください。

## 個人装備リスト

(下記以外にも各自必要と思われるものをチェックしてください)

\* 現地では上下水道と電気が復旧している一般家屋を借用しています。布団、水は確保されていますので、水、寝袋は要りません。食料は持参してください。

保険証		保険証(コピー可)は必携
身体拭き		介護用品売り場で売っています。風呂・シャワーがありませんので、作業終了後や就寝時に身体を拭くために使います。
水なしシャンプー		風呂・シャワーがありません。気になる方は持参
下 着		洗濯機はありません。宿泊日数分+予備を用意
着替え		とにかく、汚れます。少し多めに持ってくることを奨励。臭気がすごいので撤収時の着替えは別にビニール袋に包んできた方がいい
タオル		汗をすごくかきます。冷感タオルがあるとさらにいい
マスク		激しい臭気と埃がすごい状態です。宿泊日数分必要
帽 子		頭部保護のために。臭いの付着防止にもなります
長 靴		必ず持ってきてください。無いと作業ができません
油耐性ゴム手袋		炊事用ゴム手袋のもっと厚手のもの。軍手では作業できません
ゴーグル		コンタクトレンズ使用者は必携。粉塵がすごい。目薬・目洗浄水も
雨ガッパ		汚泥かき出しはこれを着て行ないます。100均のもので充分です
ゾウリ		休憩時間や作業時間以外のあるときがあると便利
虫除けスプレー		蚊対策。刺されてからのムヒや塗り薬も
薬・救急セット		常備薬。消毒液、大きさの違うバンドエイド等、基本的な救急キット
食 料		炊飯器あり。ご飯炊くなら無洗米で。お湯沸かせます。レトルト・缶詰など3食×日数分。昼食は避難所での炊き出し利用も可(有料)
ペットボトル		水はありますが、作業中や移動中の水筒代わりにあった方がいい
電池		懐中電灯、携帯ラジオの予備電源として
充電器		携帯、パソコン等充電できます
嗜好品(任意)		酒・タバコなど。宴会はできません。室内では禁煙

## MEMO

★「みなと応援村」の使い方とボランティア活動をする際の心がまえ

1. 緊急時の避難先と経路を事前に確認してください。  
「みなと応援村」にて就寝中に大地震が発生した場合はまず落ち着くこと。懐中電灯とラジオ（NHK）をつけ情報収集します。津波注意報・警報が出た場合は速やかに女川街道（国道）に向かい、横断歩道橋先の上り口から「大門崎山」を駆け上ります。（ポラステ HP 内『みなと応援村マップ』を参照）車での避難は絶対に禁止します。先の津波災害では車で移動しようとしてたくさんの命が失われています。万一来た時に備え、就寝時は手の届くところに懐中電灯とラジオ、着替えを置き、速やかに退室・避難できる心構えでいてください。
2. 「みなと応援村」は被災者の方の御自宅を借りています。  
被災してなお、自宅の提供をされている方の思いを深く受け止めて頂き、感謝の気持ちをもって施設の利用をされるようお願いいたします。  
食事の準備／後片付け、プロパンガスの使用は宿泊者同士で協力し合い、無駄遣いを無くし、火事などが発生しないようにしてください。  
\* 燃料補給を行なう場合、燃料の種別を間違えないようにしてください。  
◎石油ストーブ・・・灯油  
被災地での一酸化中毒事故が多発していますので、換気・排気には充分注意してください。
3. トイレは清潔に使用してください。
4. 体調、貴重品などの「自己管理」をお願いします。  
被災した家屋内からの汚泥くみ出しはたいへんな作業です。  
水分補給、体調管理など各自で心がけ、具合が悪くなった場合は速やかに活動先の方に申し出て、休憩・休息をとるようにしてください。  
とても残念なことです、被災地での治安状況が悪化しています。  
活動で出掛ける際、貴重品は必ず身につけ、自家用車に保管する場合も外から見えないように工夫してください。  
貴重品は自己管理です。紛失などがあっても現地スタッフを含めた私どもでは責任を負いかねますので予めご了承ください。
5. 被災された方の「目線」で考え、発言し、行動する。  
「被災した人たちの力になりたい」という思いは大切に有り難いものですが、善意の押し売りになってはなりません。「被災地」ではなく「地名」を使う、「がれき」ではなく「ご自宅」と呼ぶ、「ゴミ」ではなく「家財」または「テレビ」などといった具体的な品物名を使う。ふとした一言が被災した方の心を温かくもすれば、傷つけることもあるということを意識してください。
6. きれいに使いましょう。～来た時よりも美しく～  
「みなと応援村」は被災地で活動するボランティアの物心に掛かる負担を軽減するために、被災当事者の方の御好意で開設している宿泊所です。

また後片付けに必要な機材・資材は、全国の方々からの寄付金で購入したものです。一輪車やカクスコなど必要時には持ち出してかまいませんが、必ず持って帰ってくる事と使用後の清掃と整理整頓をお願いします。全国からの多くの方が利用しますので、「来た時よりも美しく」使っていただけよう御協力をお願いします。\*ゴミは必ず持ち帰ってください。

#### 7. 飲酒・喫煙について

「みなと応援村」では未成年者はもとより原則的に飲酒を認めていません。気持ちを和ませるための飲酒は自己責任でお願いします。深酒をして万一の際の避難に支障があっても私どもでは責任を負いかねますので、御了承ください。

喫煙(未成年禁止)については室内禁煙。屋外での喫煙をお願いすると共に、火の始末の徹底をお願いします。

#### 8. 心と体のケア（手入れ）を

被災地の役に立ちたいという気持ちは尊重しますが、現地での活動日が正味4日を越える日程は控えることを勧めます。

余震の続く被災地での滞在は思いのほか心身に負担が掛かっています。

活動を終えて日常の暮らしに戻る前に丸まる1日を取り、映画を観たり、友人と食事するなど、完全な気分転換を図るようにしてください。

なんとなく不安や後悔、もやもやした気分が続く時は私どもに御相談いただくか、カウンセラーなどの専門家に話を聞いてもらうのもいいでしょう。

#### 9. 傷害保険に加入してください。

あなたがお住まいの市町村社会福祉協議会であらかじめボランティア活動保険に加入することを強くお願いします。

その際、災害特約付きをお薦めします。

以上

### 「みなと応援村」

supported by

「被災地の人たちを応援する市民の会」

武蔵野市吉祥寺本町1-11-30-615

ボランティアステーション内

0422-28-7728 (F 兼/13-18時)

e-mail: vs@vstation.gr.jp

<http://www.vstation.gr.jp>